

# 令和元年度 浜島コミュニティセンター誠心館屋根防水改修工事

図 面 リ ス ト		
図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
	図面表紙	
A-01	特記仕様書（1）	
A-02	特記仕様書（2）	
A-03	付近見取図 配置図 面積表	1/200
A-04	屋根平面図 詳細図	1/50
A-05	仮設計画図	1/100
	図面裏表紙	

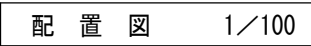
（ A 2 → A 3 7 1 % 縮小版 ）

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

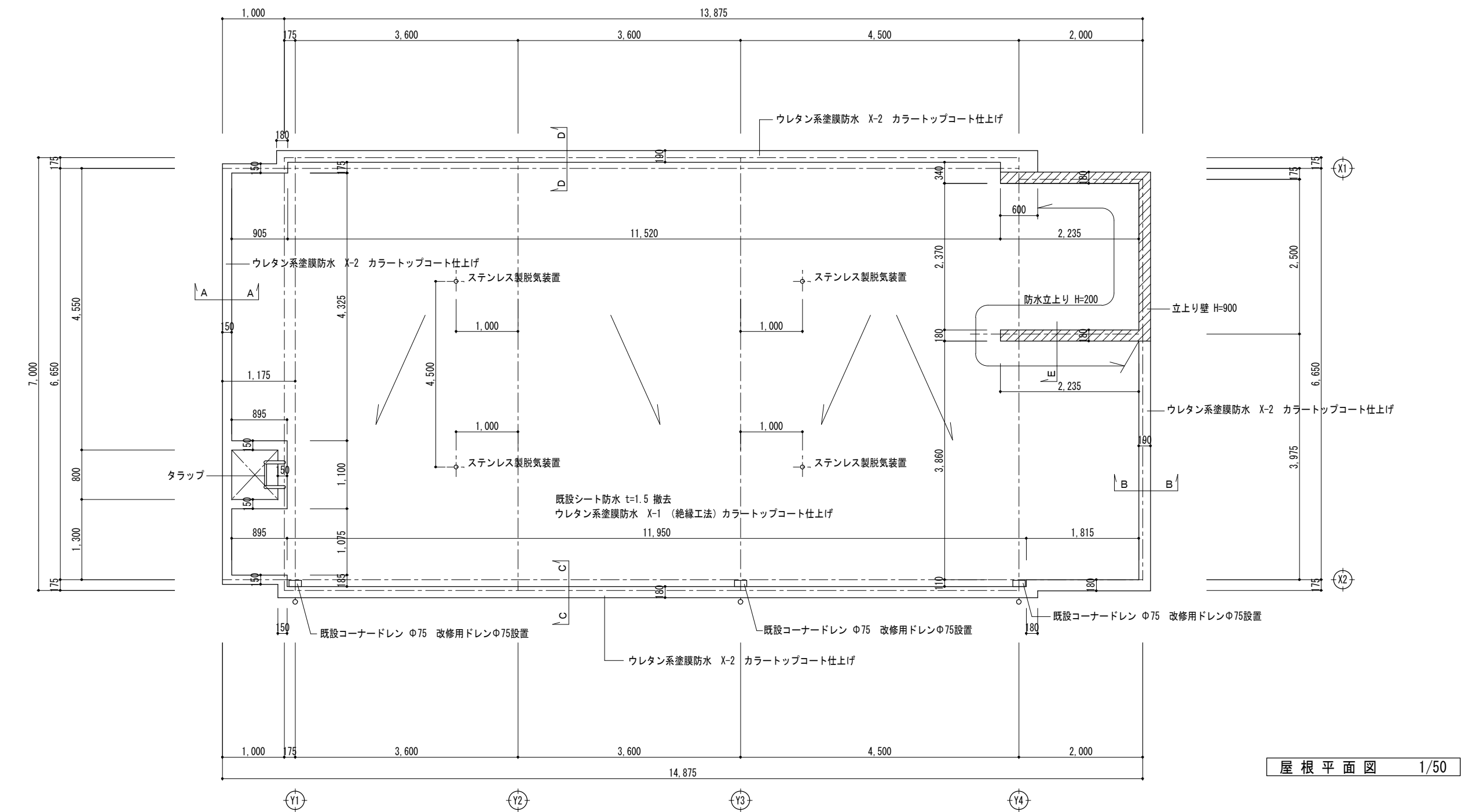
Ⅱ 建築改修工事仕様			章 項目			特記事項			章 項目			特記事項			章 項目			特記事項																																															
1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」(以下「標準仕様書」という。)による。  (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は( / )図、及び機械設備工事の特記仕様書は( / )図による。  (3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の [ . . . ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の ( . . . ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。  6) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の処置)によって処理されたものとする。			① 一般共通事項			5 施工調査  ・施工計画調査 本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管を含む)について事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督職員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。  ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ・図示 ・			6 P C B含有シーリング材の調査  ・第一次判定(シーリング材種の判定) 日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。 サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( ) ・第二次判定(P C B含有量の分析) 専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、P C B含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四周は除去し、採取部の内部(大気さらされていない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。 サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( )			7 化学物質の濃度判定  i) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を判定し、判定結果を監督職員に報告する。 ii) 判定対象室及び測定箇所数は次による。 ・測定階 1、2、3階各1箇所、工事前、工事後の2回測定 測定結果を報告する。 測定場所は監督職員と協議すること。			⑧ 発生材の処理等  ・引渡しを要するもの ・金属類 ・P C Bを含む機器類( ) ・P C B含有シーリング材 使用箇所( )  ・特別管理産業廃棄物 廃アスベスト 搬出先( )  ・現場において再利用を図るもの 建設汚泥 再利用の方法( )  ・再資源化を図るもの ・コンクリート 搬出先( ) ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 搬出先( ) ・木材 搬出先( ) ・アスファルト・コンクリート 搬出先( ) ・廃せこうボード 搬出先( )  ・せっこうボード i) 廃せこうボードの裏面の表示を確認し、石綿、ヒ素、カドミウムを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問い合わせの上、適切に処分する。 ii) 石綿含有廃せこうボード 搬出先( ) iii) その他の廃せこうボード(石綿、ヒ素、カドミウム非含有) 搬出先( )  ・その他の含有物質( ) 搬出先( )  上記搬出先については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。			⑨ 特定建設資材の処理  本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適切な措置を構ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議する。 また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に変した費用を書面にて監督職員に報告する。  ・分別解体方法			⑩ 建設発生土の処理方法  ・ 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。 搬出場所( ) 受入条件( ) 処分費( ) 仮置場( ) ・「建設発生土情報交換システム」を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。なお、次の運搬に相当する経費を見込んでいる。 搬出距離( ) D10区間( ) 仮置場( ) ・ 場内指定場所に敷き均し ・ 場内指定場所に推積  ・ 撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者 撮影箇所数 ・( )箇所 ・航空写真( )箇所 ・電子データー(JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度)1部 画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの ・カラー印刷紙キャビネット版( )枚 ・四つ切( )枚 ・アルミ銀線 ・半切( )枚 ・アルミ銀線 ・撮影者：任意 撮影箇所数 ○( )各室2箇所( ) ・電子データー(JPEGフルカラー)1部 画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上 ○カラー印刷紙L版 ( 1部 )			⑪ 完成写真  ・撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者 撮影箇所数 ・( )箇所 ・航空写真( )箇所 ・電子データー(JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度)1部 画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの ・カラー印刷紙キャビネット版( )枚 ・四つ切( )枚 ・アルミ銀線 ・半切( )枚 ・アルミ銀線 ・撮影者：任意 撮影箇所数 ○( )各室2箇所( ) ・電子データー(JPEGフルカラー)1部 画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上 ○カラー印刷紙L版 ( 1部 )			2 ① ① 足場その他  ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあつては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2)の手すり据置方式又は3)手すり専用足場方式により行う。 ・内部足場 種別(・きやつ、足場板等、 ) ・外部足場 種別(・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ) [表2.2.1] ・防護シートを設置 ・養生シート ・ネット養生シート ・金網 ・防音シート ・防音バ 柵 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ) C種：利用可能なエレベーター( ) D種：利用可能な階段( )  [2.3.1]			2 ① ① 既存部分の養生  1) 養生の方法等 ・既存部分 養生の方法(・ビニルシート等 ・ ) ・既存家具等 養生の方法(・ビニルシート等 ・ ) ・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・ ) 保管場所(・図示 ・ ) ・備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・ ) 2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。  [2.3.2] [表2.3.1]			3 ① ① 仮設間仕切  1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 [2.3.2] [表2.3.1]			種 別 下 地 仕 上 げ(厚さmm) 塗 装 充填剤 ・A種 ・木 ・せっこうボード(9.5mm) ・無し ・有り ・B種 ・軽量鉄骨 ・合板(9.0mm) ・片面 ・C種 ・単管 ・防炎シート 充填剤：グラスウール32k (厚：50mm以上) 3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等			材 質 仕 上 げ 塗 装 ・木製 ・合板張り程度 ・無し ・片面			・設ける ・設けない 規模(㎡程度) ・10 ・15 ・20 備品等の設置(机・いす・消火器)			③ ① ① 施工数量調査  調査範囲 ・図示 ・ 防水改修範囲 調査方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ 調査報告書 提出部数： ・2部 ・  [3.1.3]			2 ① ① 降雨等に対する養生方法(とい共)  ・改修標準仕様書3.1.3 (e) (1)～(3)による。 ・  [3.2.3、4、6]			③ ① ① 既存防水の処理  既存保護層の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・ ) ・行わない 既存防水層の撤去 ○・行う(範囲 ○・図示 ○) ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う(・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X) ・行わない  [3.2.6]			4 ① ① 既存防水層の下部補修  既存下部の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 ・ POS工法及びXPOS工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 ・改修標準仕様書3.2.6 (d) (3) (vii) ①～③による  [3.3.2～4.3.3.5]			5 アスファルト防水  屋根保護防水 防水層の種類			工 法 種 別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護 ・P2A ・A－1 ・A－2 ・A－3 ・P1B ・B－1 ・B－2 ・B－3 ・P2A1 ・A1－1 ・A1－2 ・A1－3 ・B1－1 ・B1－2 ・T1B1 ・B1－3 (材質) ・JIS A 9511によるA種硬質ウレタン保温材の保温板3種b(材質あり) ・(厚さ) ・25mm					
1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」(以下「標準仕様書」という。)による。  (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は( / )図、及び機械設備工事の特記仕様書は( / )図による。  (3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の [ . . . ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の ( . . . ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。  6) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の処置)によって処理されたものとする。			① 一般共通事項			5 施工調査  ・施工計画調査 本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管を含む)について事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督職員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。  ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ・図示 ・			6 P C B含有シーリング材の調査  ・第一次判定(シーリング材種の判定) 日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。 サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( ) ・第二次判定(P C B含有量の分析) 専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、P C B含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四周は除去し、採取部の内部(大気さらされていない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。 サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( )			7 化学物質の濃度判定  i) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を判定し、判定結果を監督職員に報告する。 ii) 判定対象室及び測定箇所数は次による。 ・測定階 1、2、3階各1箇所、工事前、工事後の2回測定 測定結果を報告する。 測定場所は監督職員と協議すること。			⑧ 発生材の処理等  ・引渡しを要するもの ・金属類 ・P C Bを含む機器類( ) ・P C B含有シーリング材 使用箇所( )  ・特別管理産業廃棄物 廃アスベスト 搬出先( )  ・現場において再利用を図るもの 建設汚泥 再利用の方法( )  ・再資源化を図るもの ・コンクリート 搬出先( ) ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 搬出先( ) ・木材 搬出先( ) ・アスファルト・コンクリート 搬出先( ) ・廃せこうボード 搬出先( )  ・せっこうボード i) 廃せこうボードの裏面の表示を確認し、石綿、ヒ素、カドミウムを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問い合わせの上、適切に処分する。 ii) 石綿含有廃せこうボード 搬出先( ) iii) その他の廃せこうボード(石綿、ヒ素、カドミウム非含有) 搬出先( )  ・その他の含有物質( ) 搬出先( )  上記搬出先については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。			⑨ 特定建設資材の処理  本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適切な措置を構ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議する。 また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に変した費用を書面にて監督職員に報告する。  ・分別解体方法			⑩ 建設発生土の処理方法  ・ 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。 搬出場所( ) 受入条件( ) 処分費( ) 仮置場( ) ・「建設発生土情報交換システム」を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。なお、次の運搬に相当する経費を見込んでいる。 搬出距離( ) D10区間( ) 仮置場( ) ・ 場内指定場所に敷き均し ・ 場内指定場所に推積  ・ 撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者 撮影箇所数 ・( )箇所 ・航空写真( )箇所 ・電子データー(JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度)1部 画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの ・カラー印刷紙キャビネット版( )枚 ・四つ切( )枚 ・アルミ銀線 ・半切( )枚 ・アルミ銀線 ・撮影者：任意 撮影箇所数 ○( )各室2箇所( ) ・電子データー(JPEGフルカラー)1部 画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上 ○カラー印刷紙L版 ( 1部 )			⑪ 完成写真  ・撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者 撮影箇所数 ・( )箇所 ・航空写真( )箇所 ・電子データー(JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度)1部 画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの ・カラー印刷紙キャビネット版( )枚 ・四つ切( )枚 ・アルミ銀線 ・半切( )枚 ・アルミ銀線 ・撮影者：任意 撮影箇所数 ○( )各室2箇所( ) ・電子データー(JPEGフルカラー)1部 画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上 ○カラー印刷紙L版 ( 1部 )			2 ① ① 足場その他  ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあつては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2)の手すり据置方式又は3)手すり専用足場方式により行う。 ・内部足場 種別(・きやつ、足場板等、 ) ・外部足場 種別(・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ) [表2.2.1] ・防護シートを設置 ・養生シート ・ネット養生シート ・金網 ・防音シート ・防音バ 柵 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ) C種：利用可能なエレベーター( ) D種：利用可能な階段( )  [2.3.1]			2 ① ① 既存部分の養生  1) 養生の方法等 ・既存部分 養生の方法(・ビニルシート等 ・ ) ・既存家具等 養生の方法(・ビニルシート等 ・ ) ・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・ ) 保管場所(・図示 ・ ) ・備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・ ) 2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。  [2.3.2] [表2.3.1]			3 ① ① 仮設間仕切  1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 [2.3.2] [表2.3.1]			種 別 下 地 仕 上 げ(厚さmm) 塗 装 充填剤 ・A種 ・木 ・せっこうボード(9.5mm) ・無し ・有り ・B種 ・軽量鉄骨 ・合板(9.0mm) ・片面 ・C種 ・単管 ・防炎シート 充填剤：グラスウール32k (厚：50mm以上) 3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等			材 質 仕 上 げ 塗 装 ・木製 ・合板張り程度 ・無し ・片面			・設ける ・設けない 規模(㎡程度) ・10 ・15 ・20 備品等の設置(机・いす・消火器)			③ ① ① 施工数量調査  調査範囲 ・図示 ・ 防水改修範囲 調査方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ 調査報告書 提出部数： ・2部 ・  [3.1.3]			2 ① ① 降雨等に対する養生方法(とい共)  ・改修標準仕様書3.1.3 (e) (1)～(3)による。 ・  [3.2.3、4、6]			③ ① ① 既存防水の処理  既存保護層の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・ ) ・行わない 既存防水層の撤去 ○・行う(範囲 ○・図示 ○) ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う(・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X) ・行わない  [3.2.6]			4 ① ① 既存防水層の下部補修  既存下部の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 ・ POS工法及びXPOS工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 ・改修標準仕様書3.2.6 (d) (3) (vii) ①～③による  [3.3.2～4.3.3.5]			5 アスファルト防水  屋根保護防水 防水層の種類			工 法 種 別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護 ・P2A ・A－1 ・A－2 ・A－3 ・P1B ・B－1 ・B－2 ・B－3 ・P2A1 ・A1－1 ・A1－2 ・A1－3 ・B1－1 ・B1－2 ・T1B1 ・B1－3 (材質) ・JIS A 9511によるA種硬質ウレタン保温材の保温板3種b(材質あり) ・(厚さ) ・25mm					
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・水下 80mm以上 床タイル張り ・水下 60mm以上  ・乾式保護材 窒素系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの(品質・性能) 建築材料等品質性能表による  (試験方法) 建築材料等品質性能表による																																																																	
屋根露出防水 防水層の種類																																																																	
工 法 種 別 施工箇所 断 熱 材 仕上塗料 高日射反射率防水の適用 備 考 種類 使用量 ・M4C ・C－1 ・C－2 ・C－3 ・C－4 図示 ・製造所の指定による ・製造所の指定による																																																																	
・M3D ・P0D																																																																	
・P0D1 ・M3D1 ・M4D1																																																																	

[illegible]

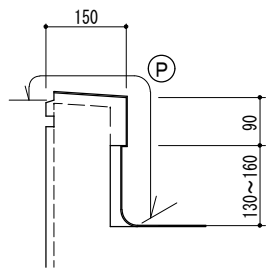
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	・ ・	令和元年度 浜島コミュニティセンター誠心館屋根防水改修工事			A ——— 02
				特記仕様書（２）		



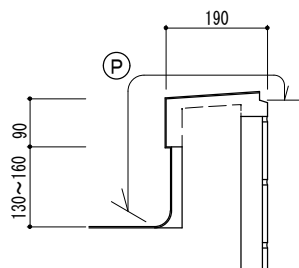
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	・ ・	令和元年度 浜島コミュニティセンター誠心館屋根防水改修工事	付 近 見 取 図		A —— 03
配 置 図				A2:1/100・A3:1/141		
面 積 表						



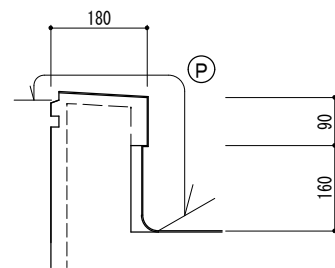
屋根平面図 1/50



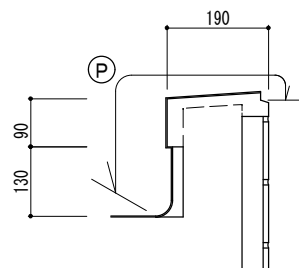
A-A 詳細図 1/10



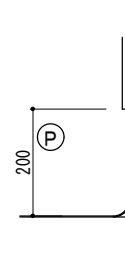
B-B 詳細図 1/10



C-C 詳細図 1/10



D-D 詳細図 1/10

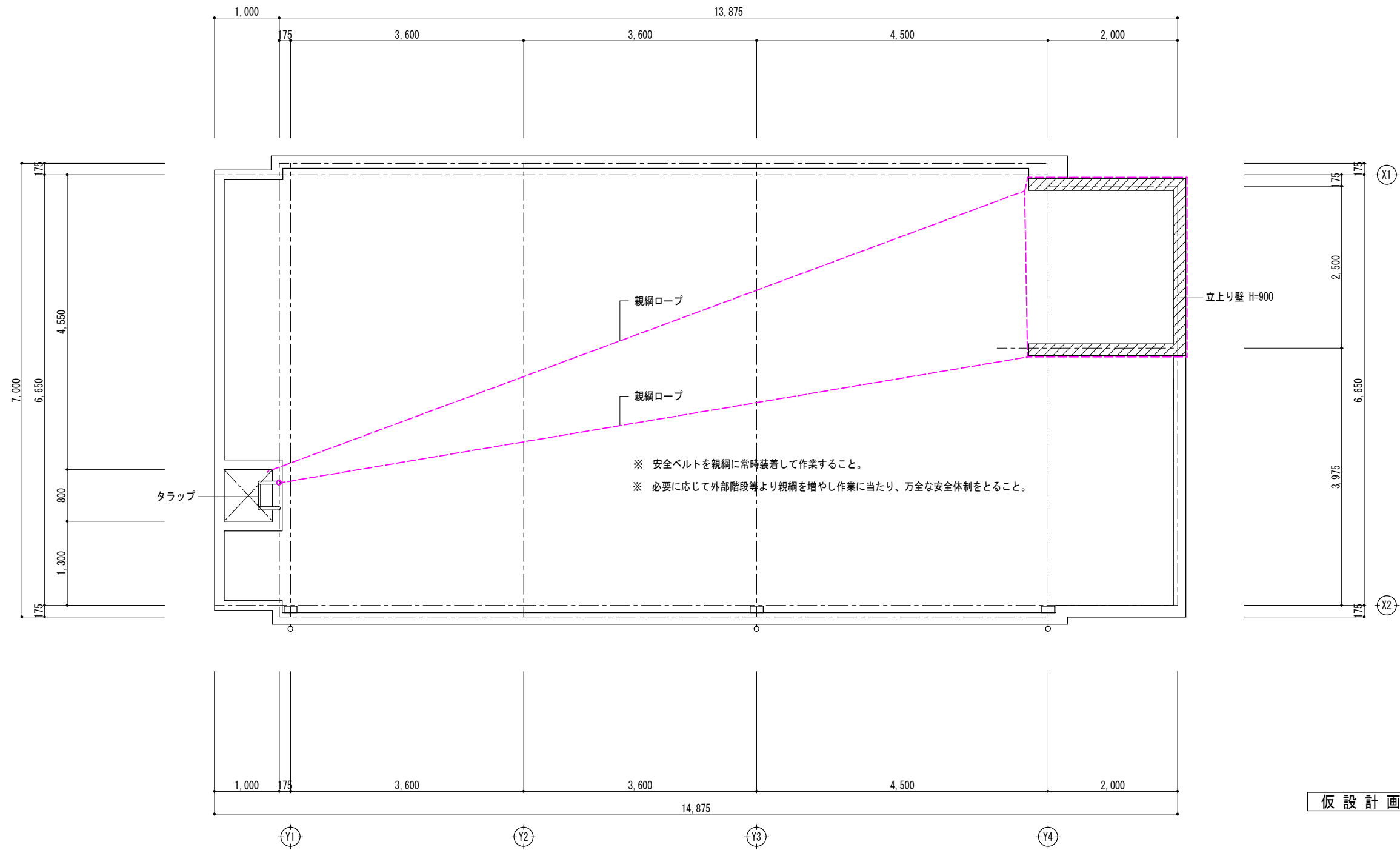


詳細図 1/10

既設シート防水 t=1.5 撤去	コンクリート金コテ押え下地
下地ケレン掛け (シート防水接着剤ケレン掛け)	
下地調整 エポキシ系樹脂モルタル塗布	
(平場) 接着剤塗り 通気緩衝シート張り	
ウレタン系塗膜防水 X-1 (絶縁工法) カラートップコート仕上げ	
(立上り) ウレタン系塗膜防水 X-2 カラートップコート仕上げ	
ステンレス製脱気装置	4箇所
改修用ドレン	3箇所

Ⓐ—防水立上り、笠木：ウレタン系塗膜防水 X-2 カラートップコート仕上げ

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	・ ・	令和元年度 浜島コミュニティセンター誠心館屋根防水改修工事	屋根平面図	A2:1/50・A3:1/70	A — 04
				詳細図	A2:1/10・A3:1/14	



仮 設 計 画 図 1/50

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士    No. 117422                      西 沢 雅 彦	・ ・	令和元年度    浜島コミュニティセンター誠心館屋根防水改修工事			A    —    05
				仮 設 計 画 図	A2:1/50・A3:1/70	

